

【復旧・復興指標達成に向けた取組み】

資料4

※進捗状況の見方: ☆→目標達成、◎→きわめて良好、○基準値より上昇、△→基準値横ばい、▲基準値より悪化

<人を守る>

指標名	基準値	実績値					目標値	進捗状況	施策
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
1 肱川緊急治水対策による浸水被害解消戸数(戸)	570	570	570	—	—	—	1,180	△	36 災害から県民を守る基盤の整備
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み ・「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算などの活用による積極的な予算確保や、建設発生土の工事間流用の拡充も含めた築堤材料の計画的な確保に努め、目標値達成を目指す。 ・多数相続地など、用地取得に時間を要するものは、事業認定による収用も視野に入れ、計画的な取得を図る。								
2 緊急土砂災害対策による保全家戸数(戸)	0	80	675	—	—	—	1,246	◎	36 災害から県民を守る基盤の整備
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み ・砂防激甚災害対策特別緊急事業により、砂防堰堤等の緊急的かつ集中的な整備を図り、目標値達成を目指す。								
3 土砂災害警戒区域の指定数(か所)	6,238	7,816	14,688	—	—	—	14,238	☆	35 防災・危機管理体制の強化
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み 目標値14,238か所(R4年度)→16,311か所(R3年度)に見直し予定 ・土砂災害警戒区域の指定は、土砂災害から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにし、警戒避難体制の整備等を行う必要があり、新たな取組みとして住民が自由な時間に説明会場に会場し自由に相談できる「オープンハウス方式」の導入や開催地区単位の拡大など行い、指定の促進を図る。								
4 応急仮設住宅候補地の確保率(%)	99.2	101.0	100.7	101.2	—	—	100%以上	☆	35 防災・危機管理体制の強化
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み ・市町別に見た場合、確保率100%未満の市町が5市町あるため、引き続き、更なる候補地の確保に向けて市町に働きかけを行っていく。								

<生活を守る>

指標名	基準値	実績値					目標値	進捗状況	施策
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
5 豪雨災害で被災した水道施設の復旧率(%)	0	72.7	90.9	—	—	—	100	○	50 良好な生活環境の保全
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み 目標値100%(R2年度)→100%(R4年度)に見直し予定 ・工事が未完了の西予市(下川(ひとうがわ)地区)に対し、他事業(林道災害復旧工事)との調整を速やかに行うなどのアドバイスを行い、R4年度末までの目標値達成を目指す。								
6 被災した県が管理する国道・県道及び市町道の災害復旧工事の完成箇所(箇所)	—	507	715	—	—	—	878	○	16 地域を結ぶ交通体系の整備
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み 目標値878箇所(R2年度)→878箇所(R3年度)に見直し予定 ・R2年度末に目標である878箇所のうち715箇所(81%)の工事が完成している。 ・労務者不足等により市町工事の進捗が遅れていたが、県工事の完成の目途が立ったことから、今後はR2年度に策定した市町工事の進捗を図る計画を推進し、被災道路のR3年度完成を目指す。								
7 災害ボランティア研修会参加者数(人)	817	867	935	—	—	—	1,300	○	17 未来をつなぐ協働のきずなづくり
	目標値達成に向けた今後の具体的な取組み ・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、オンラインでも参加できる研修会を開催し、目標値達成を目指す。								

8 市町災害廃棄物に係る団体等との災害協定締結件数(件)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	☆	49 環境への負荷が少ない循環型社会の構築
	0	0	20	20	—	—	20		
目標値達成に向けた今後の具体的な取組み									
・災害廃棄物処理に係る図上訓練等の実施により、災害廃棄物処理体制をより実効性あるものにする。									

### <産業を守る>

指標名	基準値		実績値				目標値	進捗状況	施策
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度			
9 樹園地の再編復旧に事業着手した地区数(地区)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			R4年度	◎	7 攻めの農林水産業を展開するための基盤整備
	0	1	3	—	—	—	4		
目標値達成に向けた今後の具体的な取組み									
・残る1地区(立間地区)についても、地元の合意形成を積極的に後押しすることで、令和4年度の事業着手を目指す。									
10 樹園地の災害復旧事業による原形及び改良復旧面積(ha)	H30年度	R元年度	R2年度				R2年度	○	7 攻めの農林水産業を展開するための基盤整備
	0	3	26	—	—	—	50		
目標値達成に向けた今後の具体的な取組み									
目標値50ha(R2年度)→45ha(R3年度)に見直し予定 ※目標値の面積変更は、災害復旧事業以外で対応することとなった5haを減じていることによる。									
・市町・県が連携して、通常工事と発注時期を調整し、復旧工事を優先実施できる体制づくりにより目標達成を目指す。									
11 グループ補助金認定59グループ(R2.3現在)による共同事業実施件数(件)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			R4年度	◎	1 地域に根ざした産業の振興
	0	68	70	—	—	—	77		
目標値達成に向けた今後の具体的な取組み									
・西日本豪雨災害の復旧・復興に向け各グループによる共同事業が順調に実施されている。 ・今後も共同事業の実施状況を注視し、必要な際は助言、指導を行ってまいりたい。									
12 南予地域の観光客数(千人)	H26年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R2年	▲	12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興
	7,242	8,017	7,625	6,898	7,167	5,115	8,000		
目標値達成に向けた今後の具体的な取組み									
目標値8,000千人(R2年)→7,200千人(R3年)に見直し予定									
・平成30年豪雨災害からの復興イベント「えひめ南予きずな博」を南予地域で開催し、目標達成を目指す。									

【ターゲット指標達成に向けた取組み】

資料4

※進捗状況の見方: ☆→目標達成、◎→きわめて良好、○基準値より上昇、△→基準値横ばい、▲基準値より悪化、―→判定不可

<防災・減災>

指標名	基準値		実績値				目標値	進捗状況	施策
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度			
1 防災士の数(人)	12,817	14,625	16,063	—			21,561	○	35 防災・危機管理体制の強化
	目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・防災士の役割の重要性や県の防災士養成講座の更なる周知を図るとともに、受講者が安心して受講ができるよう引き続き感染症対策を徹底したうえで、予定通り講座を開催する。								
2 県防災メール及びひめシェルターの登録者数(人)	29,942	39,883	47,586	—			55,442	◎	35 防災・危機管理体制の強化
	目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・テレビ等の報道機関を通じたアプリの宣伝やJT(日本たばこ産業)による周知協力依頼等によりアプリの認知度向上を図っていく。								
3 海岸保全施設整備による防護面積(ha)	9,010	9,010	9,010	—			9,250	△	36 災害から県民を守る基盤の整備
	目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・一定区間の海岸線について連続して整備完了しないと整備効果を発揮することができないため、防護面積は増加していないが、重点整備海岸整備計画に基づき、整備効果の高い海岸から優先的に事業実施すること、及び、防災・減災国土強靱化のための5か年加速化対策として交付金の必要額を要望することで目標達成を目指す。								
4 緊急輸送道路の防災対策の整備率(%)	93.3	95.2	96.3	96.4	—		100	○	36 災害から県民を守る基盤の整備
	目標達成に向けた今後の具体的な取組み 目標値100%(R4年度)→100%(R8年度)に見直し予定 ・法面の防災対策について、前回の防災点検から10年が経過したことや、西日本豪雨災害を踏まえ、H30年度に経過観察箇所や災害等履歴箇所を対象に再点検を実施した結果、新たに対策が必要となった76箇所についても、整備を進める計画(R2年度策定)を推進し、R8年度の対策完了を目指す。 ・今後は、法面の防災対策において、地図混乱や相続人多数等による用地買収の難航が懸念されるが、危険個所の整備を進め、さらなる整備率の向上を目指す。								
5 土砂災害防止施設により保全される人家戸数(戸)	44,582	45,012	—				46,717	○	36 災害から県民を守る基盤の整備
	目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・保全人家の多い箇所、要配慮者利用施設、重要交通網、避難路・避難場所を保全する箇所など、事業効果が大きく緊急性の高い箇所、重点的かつ計画的な砂防えん堤などのハード整備に取組み、目標値達成を目指す。								
6 社会資本の老朽化に起因する重大事故ゼロ(件)	—	R元年度	R2年度	R3年度			R4年度	☆	36 災害から県民を守る基盤の整備
	—	0	0	—			0		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・今後も公共土木施設の長寿命化計画等に基づき、定期点検や修繕等の維持管理を適切に行い、老朽化に起因する重大事故が発生しないように努める。									

<人口減少>

指標名	基準値		実績値				目標値	進捗状況	施策
	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度			
7 5日間の職場体験学習に取り組んだ公立中学校(県立中等教育学校前期課程を含む)の生徒の活動に対する充実度(%)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	○	4 若年者の就職支援と産業人材力の強化 40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進	
	93.0	94.7	93.6	—		97.0			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・学校や受入企業の実情に応じて、「5日間連続して同一企業で体験」「5日間を分散させ複数企業で体験」など、実施方法を工夫しながら職場体験学習の一層の充実を図るとともに、職場体験学習実践動画を制作・Web上で公開することにより、これから体験学習を行う生徒の活動への関心を高め、意欲的・積極的な取組へとつなげる。									
8 観光客数(千人)	H26年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R2年	▲	12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興
	26,468	27,455	26,999	25,392	26,641	17,183	29,000		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
新型コロナの影響によるアウトドア志向の高まりや収束後のインバウンド需要を見据え、 ・アウトドアアクティビティを中心に動画等で情報発信 ・宿泊事業者を対象とした受入態勢充実のためのセミナー開催 等を通じて、コロナ禍により落ち込んだ観光客数及び観光消費額の回復を図る。 ※目標値については、次期観光振興基本計画の策定に合わせて見直す予定であるが、現在は終期を延長中であるため据え置く。(目標値29,000千人(R2年)→29,000千人(R3年)に見直し予定)									
9 観光消費額(億円)	H26年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R2年	▲	12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興
	1,090	1,107	1,125	1,133	1,174	877	1,200		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
新型コロナの影響によるアウトドア志向の高まりや収束後のインバウンド需要を見据え、 ・アウトドアアクティビティを中心に動画等で情報発信 ・宿泊事業者を対象とした受入態勢充実のためのセミナー開催 等を通じて、コロナ禍により落ち込んだ観光客数及び観光消費額の回復を図る。 ※目標値については、次期観光振興基本計画の策定に合わせて見直す予定であるが、現在は終期を延長中であるため据え置く。(目標値1,200億円(R2年)→1,200億円(R3年)に見直し予定)									
10 しまなみ海道(今治市)におけるレンタサイクル利用者数(件)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	▲	14 自転車新文化の拡大・深化
	66,372	58,304	64,164	32,204	—		73,000		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・アフターコロナを見据え、サイクリストが安心して安全にサイクリングできるよう、レンタサイクルの拠点整備や情報発信等に取り組む、誘客促進を強力に推進し、目標値達成を目指す。									
11 愛媛マルゴト自転車道サイトの会員登録者数(人)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	○	14 自転車新文化の拡大・深化
	1,188	1,408	1,617	1,788	—		3,000		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・記載内容の追加・修正等への対応をはじめとしたサイトの改善や愛媛マルゴト自転車道のFacebookアカウント等を通じたPRに努め、目標値達成を目指す。									
12 松山空港の年間利用者数(千人)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	▲	15 広域・高速交通ネットワークの整備
	3,012	3,124	2,949	760	—		3,200		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・官民で組織する松山空港利用促進協議会を中心に、コロナ禍収束後を見据え、需要の変化に適切に対応しながら一層の利用促進に取り組む、路線の維持・拡充を図ることで、目標値の達成を目指す。									
13 県外からの移住者数(人)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			R4年度	○	20 地域を支える人材づくり
	1,715	1,909	2,460	—			3,500		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・地域おこし協力隊OB組織と連携した相談態勢強化やデジタル技術やオンライン(移住フェア、コミュニティ)を効果的に活用した若者世代の移住促進を図り、目標値達成を目指す。 ・アフターコロナを見据え、首都圏経済団体や県内コワーキングスペース事業者と連携を深めることで、転職なき移住が可能なテレワーカーの誘致を強化し、目標値達成を目指す。 ・南予移住マネージャーによる移住者受入態勢づくりの強化や「えひめ南予さずな博」等とも連携した地域の魅力発信を通じて、南予への移住者拡大を図り、目標値達成を目指す。									
14 えひめ結婚支援センターの成婚報告数(組)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度			R6年度	○	37 安心して生み育てることができ環境づくり
	1,056	1,179	1,275	—			1,800		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・令和2年度に構築したオンライン婚活に対応した結婚支援システムを活用し、居住エリアにとらわれないオンライン婚活を主軸に展開するとともに、主に県内外の20代をターゲットとしたデジタルマーケティングを実施し、20代及び県外会員の増加を図ることにより、目標達成を目指す。									

<経済活性化>

指標名	基準値	実績値					目標値	進捗状況	施策
		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
15 県農林水産研究所が開発した新品種・新技術数(件)	H26～29年度の平均値	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	☆	8 選ばれる産地を目指した技術開発の推進	
	29	31	32	34	—	30			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・各種研修に積極的に参加するとともに情報収集に努め、研究員個々のスキルアップを図ることにより、各年ごとの目標達成を目指す。									
16 「愛」あるブランド製品の年間販売額の伸び率(対前年度比)(%)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	▲	9 愛媛産品のブランド力向上	
	2.6	△1.3	1.1	△1.3	—	5.0			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・国内外において、生産団体等と連携したPR活動を実施することにより、「愛」あるブランド産品の一層の認知度向上を図り、目標値達成を目指す。									
17 県関与年間成約額(億円)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	☆	10 営業力の強化と市場拡大		
	138.8	205.2	174.4	—	150				
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・苦境に直面する県内事業者を支援するため、企業ニーズに即した積極的な企画提案や大手小売業者等と連携した海外展開をより一層加速させるほか、商品開発から販路開拓を通じた一気通貫での支援、EC市場を確実に取り込むデジタル営業の強化を図ることなどにより目標値達成を目指す。									
8【再掲】 観光客数(千人)	H26年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R2年	▲	12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興
	26,468	27,455	26,999	25,392	26,641	17,183	29,000		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
新型コロナの影響によるアウトドア志向の高まりや収束後のインバウンド需要を見据え、 ・アウトドアアクティビティを中心に動画等で情報発信 ・宿泊事業者を対象とした受入態勢充実のためのセミナー開催等を通じて、コロナ禍により落ち込んだ観光客数及び観光消費額の回復を図る。 ※目標値については、次期観光振興基本計画の策定に合わせて見直す予定であるが、現在は終期を延長中であるため据え置く。(目標値29,000千人(R2年)→29,000千人(R3年)に見直し予定)									
9【再掲】 観光消費額(億円)	H26年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R2年	▲	12 魅力ある観光地づくりと国際観光の振興
	1,090	1,107	1,125	1,133	1,174	877	1,200		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
新型コロナの影響によるアウトドア志向の高まりや収束後のインバウンド需要を見据え、 ・アウトドアアクティビティを中心に動画等で情報発信 ・宿泊事業者を対象とした受入態勢充実のためのセミナー開催等を通じて、コロナ禍により落ち込んだ観光客数及び観光消費額の回復を図る。 ※目標値については、次期観光振興基本計画の策定に合わせて見直す予定であるが、現在は終期を延長中であるため据え置く。(目標値1,200億円(R2年)→1,200億円(R3年)に見直し予定)									
10【再掲】 しまなみ海道(今治市)におけるレンタサイクル利用者数(件)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	▲	14 自転車新文化の拡大・深化	
	66,372	58,304	64,164	32,204	—	73,000			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・アフターコロナを見据え、サイクリストが安心して安全にサイクリングできるよう、レンタサイクルの拠点整備や情報発信等に取り組み、誘客促進を強力に推進し、目標値達成を目指す。									
11【再掲】 愛媛マルゴト自転車道サイトの会員登録者数(人)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	○	14 自転車新文化の拡大・深化	
	1,188	1,408	1,617	1,788	—	3,000			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・記載内容の追加・修正等への対応をはじめとしたサイトの改善や愛媛マルゴト自転車道のFacebookアカウント等を通じたPRに努め、目標値達成を目指す。									
18 高規格幹線道路等の整備率(%)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	△	15 広域・高速交通ネットワークの整備		
	77.3	77.3	77.3	—	78.4				
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・自動車専用道路のため、一定区間(IC間)をまとめて供用開始することから数値上は横ばいであるが、工事の進捗はR4年度の目標値達成に向けて予定どおり進んでおり、引き続き、整備の推進に取り組む。									
12【再掲】 松山空港の年間利用者数(千人)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	▲	15 広域・高速交通ネットワークの整備	
	3,012	3,124	2,949	760	—	3,200			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み									
・官民で組織する松山空港利用促進協議会を中心に、コロナ禍収束後を見据え、需要の変化に適切に対応しながら一層の利用促進に取り組み、路線の維持・拡充を図ることで、目標値の達成を目指す。									

＜その他の重要課題＞

指標名	基準値		実績値				目標値	進捗状況	施策
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度			
19 要介護認定を受けていない人の割合(%)	79.22	79.47	78.85	78.80	—	77.66%以上	☆	22 高齢者がいきいきと暮らせる健康長寿えひめの実現	
	目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・引き続き、各市町が実施する高齢者の自立支援や重度化防止の取組みや介護給付適正化の取組みを支援するため、研修会の開催や専門家の派遣等を実施する。								
20 施設入所から地域へ生活の場を移した人数(率)(人・%)	H27～29年度	H30年度	H30～R元年度	H30～R2年度		H30～R2年度	○	23 障がい者が安心して暮らせる共生社会づくり	
	42人(2%)	15人(0.8%)	36人(1.8%)	—		189人(9.7%)			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み 目標値189人9.7%(H30～R2年度)→88人4.4%(R3～5年度)に見直し予定。 ・目標値の達成に向けては、障がい者の重度化・高齢化に対応する必要があることから、地域の受け皿となる日中サービス支援型グループホームの整備補助のほか、相談支援専門員への研修や、県障がい者自立支援協議会における点検・評価、各市町協議会への助言など、ハード・ソフト両面からの環境整備を進め、サービス提供主体である市町を支援する。									
21 65歳未満で死亡する人の割合(男性)(%)	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	○	25 生涯を通じた心と体の健康づくり	
	11.8	11.3	10.9	—	—	7.2%以下			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・産官学の連携による健康づくりに関する意識啓発や、ビッグデータ等の分析による地域特性に応じた健康課題の解決への取組のほか、各自の健康状態の見える化が図られるスマートフォンアプリの利用促進等により、県民の健康寿命の向上に努める。									
22 65歳未満で死亡する人の割合(女性)(%)	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	△	25 生涯を通じた心と体の健康づくり	
	5.6	5.1	5.6	—	—	3.2%以下			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・産官学の連携による健康づくりに関する意識啓発や、ビッグデータ等の分析による地域特性に応じた健康課題の解決への取組のほか、各自の健康状態の見える化が図られるスマートフォンアプリの利用促進等により、県民の健康寿命の向上に努める。									
23 医療施設従事医師数(人口10万人当たり)(人)	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	◎	26 安全・安心で質の高い医療提供体制の充実
	262.5	隔年調査	269.2	隔年調査	R3.12月判明予定	—	282.2		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・医師確保対策について愛媛大学や愛媛県医師会等と連携して強力に推進し、目標達成を目指す。 ・奨学金制度や寄付講座等の効果的な運用を図り、目標値達成を目指す。									
24 景観計画策定数(件)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	◎	28 快適な暮らし空間の実現	
	15	17	19	—		20			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・景観形成アドバイザーの派遣等、計画策定の支援を行い、目標達成を目指す。									
25 県立学校の教室へのエアコン設置率(%)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	○	39 魅力ある教育環境の整備	
	50.1	59.4	59.7	—		100			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・生徒数及びクラス数が減少していることを踏まえ、再度、設置が必要な教室等の精査を行うとともに設置計画を見直し、目標達成を目指す。									
26 県立学校の普通教室における電子黒板の整備率(%)	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度		R4年度	◎	40 確かな学力・豊かな心・健やかな体を育てる教育の推進	
	31.3	49.2	64.9	—		82.1			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み 目標値82.1%(R4年度)→100%(R4年度)に見直し予定 ・令和5年度までの整備計画を、令和4年度までに整備完了するよう前倒し(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用)の上、実施予定									
27 国民体育大会における総合成績(天皇杯順位)(位)	H26年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	—	46 競技スポーツの振興
	21	2	12	21	開催延期	—	10位台		
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・四国ブロック大会を確実に突破することを最重要課題として、デジタル機器を活用した指導者スキルアップセミナーの開催等新たな強化対策に取り組むなど、競技力強化に努め目標値達成を目指す。									
28 自然公園、四国のみちの利用者数(千人)	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	▲	51 豊かな自然環境と生物多様性の保全	
	5,357	5,063	5,138	3,545	—	5,750千人以上			
目標達成に向けた今後の具体的な取組み ・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う外出自粛などにより利用者が減少したが、コロナ収束後の利用者回復を見据え、快適に利用できるよう施設整備に取り組む。									